



豊能町長

上浦 登

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、令和7年の輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、1月1日には、石川県能登地方で巨大地震が発生するなど、日本各地で大規模な自然災害がいつどこで起きてもおかしくない状況が続いています。そのため町におきましても、昨年は、豊能町総合防災マップの改訂や住民の皆さまを対象とした避難訓練の実施、池田市医師会や池田市薬剤師会との災害時の連携協定の締結など、皆さまの安全・安心の確保に努めてきたところです。

いつの時代も災害には「大きく構えて小さく収める」ことが大切です。引き続き、地域の皆さまと連携し避難訓練などを積み重ね、着実に防災対策を推進してまいります。

さて、町では、現在、令和5年6月に策定した豊能町公共施設再編に関する基本方針に基づき、東西それぞれの地区で、公共施設を将来の人口規模や財政規模に合わせ集約し整備するため、基本計画の策定に取り組んでいるところです。

公共施設の再編に関しましては、利用者の皆さまのみではなく、住民の皆さま全体の合意形成を図ることが重要であることが

ら、昨年4月に住民アンケート調査を行い、現在、東西それぞれの地区で住民の皆さまによるワークショップを行っているところと、今後とも、アンケートやワークショップでいただいたご意見を踏まえながら基本計画の策定に取り組んでまいります。

また、長年の懸案事項であるダイオキシン問題に関しましては、余野地区の皆さまの深いご理解とご協力をいただき、公共施設再編計画と一体的に進めることで、合意に達しました。豊能郡環境施設組合において、組合事務所跡地の地下に処理済の廃棄物を格納する施設を建設するため、令和6年10月から周辺の工事に着手しております。今後とも、地元自治会の皆さまのご理解、ご協力をいただきながら、安全・確実に工事が進むよう全力で取り組んでまいります。

さらに、義務教育学校につきましても、東西それぞれの地区で、令和8年4月の開校を目指し、準備を進めているところです。が、昨年4月から、西地区の義務教育学校の開校に向け、光風台小学校の一部を吉川中学校の生徒の皆さまの学習の場とさせていただきます、吉川中学校校舎の改修工事に着手しました。また、東地区の義務教育学校につきましましては、学校と地域全体とともに発展させていくため、議会からいただいた提言を踏まえながら、昨年、保護者の皆さまや地域の皆さまにご理解をいただき、令和8年4月に東能勢中学校で開校し、その後、東能勢小学校に移転することといたしました。

児童・生徒の皆さまや保護者の皆さまに

は、何かとご不便、ご負担をお掛けしますが、ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

また、町では、人口の減少や高齢化により、公共交通や商店など皆さまの社会生活を支えるサービスに影響が生じることが懸念されています。そのため、定住人口の増加策として、昨年度から既存の空き家住宅の除却や家財道具等の処分に対する補助といった施策に取り組んでいますが、今年度から新たに、家屋のリフォーム工事費用の補助や移住就職応援支援金の制度を設け、移住・定住の促進に努めているところです。こうした取り組みによっても、人口の減少に歯止めをかけることは容易ではありませんが、今後とも、人口の減少や高齢化が進む中、地域のにぎわいづくりや活力の維持に努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

私といたしましては、こうした取り組みに加え、引き続き、子育て支援や農業の活性化などの課題につきましても、皆さまの声に真摯に耳を傾け、誰もが安心・安全に暮らしていただけるよう、議会のご理解・ご協力をいただきながら町政運営に尽力してまいりますので、皆さまの一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりましたが、新年が皆さまにとりまして幸多き飛躍の1年になりますよう、心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。

令和7年1月1日



豊能町議会議長

永並 啓

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素は豊能町議会へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

世界を見渡せば、ロシアによるウクライナ侵攻は現在も続き、中東情勢は一段と緊迫化しています。多くの尊い命が犠牲となる悲しい事態が一日も早く収束することを願ってやみません。

そのような中、昨年、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞されました。本当に意義のある受賞と考えます。人類は核兵器の理解を深め、その兵器が日本に使われたという事実を再認識する必要があります。

豊能町においては、昨年度に議会から政策提言した「東地区の小中一貫校を東能勢小学校で実施する」ことが実現することになりました。当初予定の東能勢中学校での設備改修も一部施工済であったため、困難と思われましたが、5年後を見据えたまちづくりを掲げる上浦町長の強いリーダーシップの賜物と考えています。他の提言に

ついても、各部・各課の職員が真摯に受け止め、詳細な調査・検討をしていただきました。

上浦町政になり、前体制で崩れてしまった行政と議会の信頼関係の再構築に繋がっていると感じます。今後も議員全員で議論し、議会からの政策提言を行っていく所存です。

旧双葉保育所に保管しているダイオキシン類を含む廃棄物は、現在、管理施設の建設に向けて工事が開始されています。平成9年に発生した問題によりやく終止符が打たれようとしています。ご理解とご協力をいただきました地元自治会の皆さま、そして、この問題の解決にご尽力くださったすべての皆さまに、心より感謝を申し上げます。

塩川前町長が、議会の議決と異なる内容で実施したスマートシティ事業に係る未入金1億3500万円は、全額入金されるよう、引き続き行政に働きかけていきます。交通問題は、今後の豊能町にとって重要な問題です。西地区でのA1オンデマンド交通社会実験は、最終年度を迎えています。今後の方向性は未定ですが、利用者が増えなければ継続は困難になります。

昨年11月には、総務建設常任委員会でのカーシェアリングの取組みを視察しました。これは、誰一人置き去りにしないまちづく

りのため、地域で車をシェアし、地域で運転も担っていただくというものです。

今後の行政サービスは、自分たちでできることは自分たちでする必要があります。そうしなければ、サービスは低下し、住みにくい町になってしまいます。

それは、防災対策についても同じです。いつ起こってもおかしくない南海トラフ巨大地震に冷静に対処するためには、日頃の準備が必要不可欠です。地震の時は、町全体が被災します。職員も被災します。避難所の運営は、実際に避難所を利用する人たちで担っていく必要があります。

議会では、積極的に情報発信に努めています。令和6年12月議会からは、本会議に加え、委員会の議論の内容も動画配信しています。住民の皆さまが投票し当選した議員が、議会でどのような発言をしているのか知っていただきたいと思えます。

また、住民の皆さまからのご質問やご要望は、議員全員で議論し、お答えさせていただきますので、いつでも皆さまの声を聞かせください。

結びに、本年が皆さまにとりまして、素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和7年1月1日